

## 紀念會詠草：文苑

著者	谷口，保太郎，本田，弘，柳川，兵一，山室，宗文，柴田，貞一，堀，勇吉，生田，鹿之丞
雑誌名	龍南會雜誌
巻	9 5
ページ	4 4 - 4 4
発行年	1902-11-20
その他の言語のタイトル	紀念會詠草：文苑
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2298/5400">http://hdl.handle.net/2298/5400</a>

# 紀念會詠草

四十四

龍南疊舍美風存。剛健由來世所尊。四方來學皆成志。  
十二年間文教新。此後千秋又盛運。粗才何以祝嘉辰。

教授 本田 弘

ろのかみを知るやと問へば色深きみどりの松ぞ答へかはなる

柳川 兵一

千代かけて文の林は榮けなむたつ田の松とみどりきろひて

山室 宗文

みな人のこゝろくにたのめつゝもとつ日はふけふぞたのしき

柴田 貞一

としごとに學びの庭の小松原色をふかめて生茂るらむ

堀 勇吉

立田山うごくばかりに祝はなむわが學びやの千代のさかぬを

生田 鹿之丞

長へに阿蘇のけふりの立つがごと千代にあげなむ學びやの名を